

令和4年度 いのちの授業 事例集（高校）【その他】

掲載数

57

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 川崎市立	高1	その他	What Is Happiness?	幸福度についての調査結果から過去と現在の、地域間の幸福感の比較を論じた文章を読み、幸福感を左右するものは何か、幸福を阻害するものは何かについて考察し、話し合った。	“BIG DIPPER English Communication I” (数研出版)
2 横須賀市立	高複合	その他	臓器移植	「こころとからだの基礎的理解・生活支援に必要なこころとからだの理解」の単元において、「終末期に関するこころとからだのしくみ」や「臓器移植」について学習した。この科目を履修している生徒は、VTRの視聴やグループワークなどを通して、いのちの大切さと尊厳について考える機会となった。また、この科目のねらいである福祉を実践する際の根拠を理解するだけでなく、豊かな人間性を育み、職業人としての資質・能力の育成の一助になった。	2・3年次共通履修科目名「こころとからだの理解」 VTR教材・ワークシート使用
3 神奈川県立	高2	その他	人工妊娠中絶	若い世代の望まない妊娠と中絶、いのちに対する責任について考える。手術の方法や年間の手術件数などを具体的に学んだ上で、2つの資料を読み、自らの考えをまとめる。生徒一人ひとりが人工妊娠中絶の現状をしっかりと受け止められるように母体で成長している胎児の様子を画像で示す。	
4 神奈川県立	高1	その他	薬物乱用防止	予定していた麻薬探知犬によるデモンストレーションは実施できなかったが、横浜税関の業務内容等の講義を受けることにより、薬物乱用防止について学んだ。薬物という自分には関係ないという態度が予想されたが、薬物に関する知識と恐ろしさを知り、社会的問題としてだけではなく、自分の身の回りに起こり得る問題であることとらえ、薬物乱用について考えることができた。	講師は、横浜税関税関広報広聴室の職員
5 神奈川県立	高2	その他	性と生を知る	思春期に起きやすい様々な問題に対処できる知識を会得し、心身ともに健康に生きるための力を育むための「2年生対象思春期講座」を開いた。「性と生を知って恋力アップ」と題し、産婦人科医を講師に迎え、高校生が抱える性の問題や、妊娠や避妊、生の尊厳などについて講義していただいた。生徒たちは、命の大切さを再認識し、真剣に話を聞いていた。講義終了後のアンケートなども反応がよく、講演はとても好評であった。	ポートサイド女性総合クリニック

6	神奈川県立	高1	その他	デートDV	思春期に起きやすい様々な問題に対処できる知識を会得し、心身ともに健康に生きるための力を育むための「1年生対象思春期講座」で、デートDV予防ワークショップを実施した。内容は前半はデートDVだけでなく、ハラスメント全体の話から始まり、後半はワークショップ形式でデートDVのある場面を想定し、その対処方法を考えるものであった。生徒たちが身近に起こり得る問題としてとらえ、真剣に話を聞く姿勢が見られた。終了後のアンケートも好評だった。	NPO法人 エンパワメント かながわ
7	神奈川県立	高複合	その他	子どもの誕生	「胎児の発育と母体の変化」「母体の健康管理」について理解を深める。	2・4年次生
8	神奈川県立	高1	その他	「命と家族の大切さを考える」	現代日本の高齢化社会や様々な時代の変化に気づきを与える機会として、未来の自分像を考え、命の大切さや家族への想いを自らの言葉と絵画によって構成した。さらには古典技法による墨と筆を使い、絵巻物に表現しわが国独特の芸術文化に親しむ。導入から完成まで約3か月間をかけてじっくり自分と向き合う時間を設定することにより、喧騒から逃れ心豊かになれるよう、指導を心掛けた。	絵巻物(20×150cm)、小筆、墨、アクリル絵の具、美術科教諭と書道科教諭の交換授業において専門的指導をし、質の高い技術を習得できるよう目指す。
9	神奈川県立	高3	その他	All Aboard English CommunicationⅢ "Witnesses of War"	兵役についた成人男性の代わりに路面電車の運転士となった14歳の少女の過酷な原爆体験と被爆後3日で動き出した路面電車が復興に果たした役割についての英文を読み、戦争を知らない世代の生徒たちが平和や命の大切さを考える機会を持った。初めて知ることも多く、またロシアによるウクライナ侵攻後間もないこともあり、非常に興味を持った様子であった。「大怪我を負い、逃げる途中で倒れていた友人を見捨てざるをえなかった少女の気持ち」「広島の人々にとっての路面電車の意味」「『Witnesses of War』とは誰(何)のことか」というテーマのグループワークでは多くの意見が出た。	chromebookとプロジェクターを使用し、画像や動画を見せることにより、具体的なイメージが持てた。(参考資料)「被爆電車75年の旅」ザメディアジョンプレス、「オバマ広島演説」コミックシーモア、2016年8月小西幸子さんへのインタビュー
10	神奈川県立	高3	その他	生命倫理について	生命倫理に関する問題(出生前診断、代理母出産、内密出産、積極的安楽死)について、グループワークやDVD学習などを行った後に、ディベートを行い、それらの問題を多面的に考え、命に関する倫理的な問題に対する理解や意識を高める。	教科：看護 科目：看護と倫理(学校設定科目) 教材：自主教材
11	神奈川県立	高3	その他	障がいと差別についての理解	障がい者の問題について、心理面・身体面・社会面から捉え、障がいの有無に関わらず、全ての人にとって住みやすい社会の実現について考える。	教科：看護 科目：看護と倫理(学校設定科目) 教材：自主教材
12	神奈川県立	高複合	その他	生命と性の健康教育	助産師である講師により、女性の健康や妊娠・出産などに関わる問題について講演をいただき、命や性に関する問題について考え、理解を深める。	教科：看護 科目：看護臨地実習 講師：昭和大学教授
13	神奈川県立	高3	その他	ハンセン病の理解	ハンセン病についての講義やDVD学習、小説「いのちの初夜」についてのグループワークを通して、ハンセン病の理解を深め、ハンセン病の歴史や問題を考える。	教科：看護 科目：看護と倫理(学校設定科目) 教材：自主教材

14	神奈川県立	高3	その他	がん教育	がん体験者の体験談やワークショップを通して、がんやがん患者に対する理解を深め、命や健康について考える機会とする。	教科：看護 科目：看護臨地実習 講師：神奈川県がん患者団体連合会
15	神奈川県立	高1	その他	高校生の食事と運動について	知育、徳育、及び体育の基礎となるべき、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけ、生涯にわたって健全な心と体力を培うことを目的に食育講演会を実施した。本校では、運動部を中心に運動習慣が確立している生徒が多いため、高校生の心身ともに健康な身体作りのために食事の意義や五大栄養素を中心とした栄養学的な観点から毎日の食生活を振り返るような内容であった。保健体育科や家庭科の内容とも深く関わる内容であり、教科の内容と関連付けて講義の内容を理解し、自分たちの毎日の食生活の課題をどのように改善していくかを考える生徒もいた。	【講師】 日本体育大学児童スポーツ教育学部児童スポーツ教育学科助教授
16	神奈川県立	高複合	その他	「薬物乱用防止について」(講演)	全校生徒を対象に、薬物が身体的・精神的に与える影響や依存について講演を行った。講演を通じて、生徒は、危険薬物に対する知識や心身の健康の大切さ、自分や周りの人を危険薬物から守ることなどを学んだ。	神奈川県警察本部 少年相談保護センター 横浜第一方面事務所
17	神奈川県立	高複合	その他	3.11を風化させない取り組み	東日本大震災から復興していく被災地の変化や被災者の生きていく姿を動画や画像で視聴し、命の大切さを実感させ考えをワークシートにまとめる。 (3月実施予定)	全校生徒が学校行事として取り組む。
18	神奈川県立	高2	その他	命と人権と教育	当時のパキスタン・タリバン政権下で、女性が学校に行く自由を訴えて銃撃されたマララ・ユスフザイさんの行動や考え方を教材を通して学んだ。自らの命を狙われ奇跡的に回復したあとも女子教育の大切さを訴えたことを学習した。日本では教育を受ける権利が当たり前になっているなかで、教育を受ける権利が保障されていない国や地域があり、特に女子教育が認められず若年での結婚出産という課題を抱えた地域があることを調べ、いのちの在り方の違いを意識してそれぞれが自分の「いのち」についてあらためて振り返った。	英語科教員 2014年にノーベル平和賞受賞者マララ・ユスフザイさんの教科書の題材
19	神奈川県立	高1	その他	カンタータ「土の歌」を学び、「いのち」について考える	教科書「音楽I Tutti」に掲載されている「大地讃頌」を合唱するにあたり、曲が作られた背景を調べたり曲の構成を考え、一人ひとりが指揮することも体験した。その中で、「大地讃頌」が収められている組曲カンタータ「土の歌」の全曲についても学習し、戦争、原爆、自然災害の脅威と自然と人間の共生など作詞者の思いを通して現在を生きる自分と照らし合わせて、「いのち」について考えた。	音楽I 使用教科書：教育出版「音楽I 改訂版 Tutti」およびカワイ出版 混声合唱のためのカンタータ「土の歌」

20	神奈川県立	高2	その他	1人暮らしを考える	インクルーシブ特別募集の生徒が自らの命を守り一人暮らしをするために必要な費用を考える。 ICTを活用して調べ学習を行った。 現実を知り「こんなにお金がかかるなんて・・・生きていけない」と驚きを隠せない生徒もいた。	教員
21	神奈川県立	高1	その他	がんの原因と予防	日本人の死因の第1位である「がん」について、自身の生活習慣と結びつけながら知識を身に付けていった。がんと闘病した方の体験談やグラフなどのデータをもとに授業を展開した。生徒は、がんは決して自分と関係ない病気ではないことを理解し、健康に生きるため、若いうちからの生活習慣を見直し計画立て、自分なりに改善しようとしていた。	がんに関するグラフや表などで根拠となるデータを提示した。 参考：国立がん研究センター
22	神奈川県立	高3	その他	薬物乱用防止講話	薬物依存者の実態を伝えるべく、リハビリ施設より、薬物依存治療中の通所者を講演者として招き、依存の実態を語っていただいた。薬物依存という自らとはあまり関係ないものだと思いがちな多くの生徒にとって、薬物は身近にある怖いものだということを知ってもらい、乱用・依存に至る可能性が誰にでもあるという啓発を行った。薬物依存者本人の話聞く機会は少ないと思われるので、生徒にとって衝撃と同時に意義のある講演であったと思われる。	講師：独立行政法人 福祉医療機構 社会福祉振興助成事業 横浜DARCケアセンター 通所者
23	神奈川県立	高3	その他	LGBTQ講話 「相手も自分も大切に するコミュニケーション」	多様性をテーマに行われた講演は、まず始めに「LGBTQ」という言葉の内容を知る。しかし講師は「用語を覚えることはあまり重要ではない。知識を得ることも必要だが、何より重要なのは『相手と向き合うこと』である。」と話す。講師自身が、トランスジェンダーであり元男性。自身の経験を語りながら、「LGBTQが特別ではない。不自由な人が可哀想で特別ではない。『普通』というものさしで相手をみてはいけない。」と話し、生徒たちは相手も自分も大切にするためのコミュニケーションを考え学ぶことができた。	一般社団法人JCMA代表
24	神奈川県立	高2	その他	次世代をはぐくむ	家庭総合と家庭基礎の授業において、子どもの発達、親の役割、子育て支援と福祉について学習した。	教科書
25	神奈川県立	高1	その他	DIG訓練 (災害図上訓練)	敷地内が土砂災害警戒区域に指定されていること、東日本大震災で帰宅が困難になった経緯等を考え、地域の主要道路、広域拠点、災害が起こりそうな場所、食料品等調達できる場所等を確認し、いざというときにいのちを守ることができる行動ができるための学習を行った。	本校所属の教諭による授業 (参考資料) ・栄区防災マップ

26	神奈川県立	高1	その他	平和学習	<p>平和・戦争に関わる美術作品の鑑賞 ①～⑥の作品を見て感じたことをプリントに書かせた。 ①岡本太郎「明日への神話」②大岩オスカル「ガーデニング（マンハッタン）」③小沢剛「ベジタブル・ウエポン」④照屋勇賢「Color the World」⑤福田繁雄「VICTORY」⑥浜田知明「少年兵哀歌（歩哨9）」</p>	美術の授業で教員が指導
27	神奈川県立	高2	その他	コミュニケーション英語Ⅱ 「The Doctor in the Stomach」	<p>1966年の映画『ミクロの決死圏』では、医療チームが小さくなって負傷した科学者の体内へと入り、負傷した箇所を治療した。現在、医療は急激に進歩しており、従来は口から飲み込んでいた胃カメラは、より細い内視鏡になっている。鼻から管を挿入でき、患者が内視鏡を飲み込むつらさが軽減されている。検査の痛みが減ることで、より多くの人々が検診を受信し、病気予防につながっていることを生徒は学んだ。さらに、カメラ内臓カプセルや体内で歩くカプセルも開発され、病気の早期発見・治療につながっている。医療の進歩により、たくさんの命が救われていることを生徒たちは学び、健康の大切さに気づくことができた。</p>	コミュニケーション英語Ⅱ教科書
28	神奈川県立	高2	その他	家庭基礎 「保育」	<p>妊娠・出産・育児に関する内容を理解するため、体験的な要素を織り交ぜながら授業を展開した。 具体的には、①胎内のエコー画像（3D画像）、②妊娠後期の腹部重量感を体感するグッズ、③新生児のダミー人形、を男女とも使用し、生命の尊厳や、養育の苦労と愛情、家庭生活の展望などを感じる機会とした。</p>	①胎内のエコー画像（3D画像） ②妊婦疑似体験教材 ③新生児抱き人形
29	神奈川県立	高1	その他	情報デザイン （ピクトグラム）	<p>優れた情報デザインの1つであるピクトグラムは、日本のみならず世界各国で用いられている。ISO（国際標準化機構）は、言葉が通じなくともいのちを守るための重要な情報が正しく伝わるようにするために、非常口の案内や危険物の警告表示など、世界共通で用いられるべき危険標識・警告標識・安全標識のピクトグラムを定めた。生徒に「これは何の標識か」「なぜ世界共通でデザインを定める必要があるのか」などの質問を投げかけると、意見を出し合う中でいのちの重要性と、それを守るための行動を促すためのデザインであるという考えにたどり着いていた。</p>	（教材）教科書および資料集
30	神奈川県立	高複合	その他	「脳・神経をつくって理解する」	<p>神経細胞の仕組みやiPS細胞の技術などの科学的なしくみについて、外部講師による出張授業を行った。 映像や解説を通じて、詳しく理解するとともに、意識の概念に触れながら倫理的な問題などについて考察を行うことで、自身の将来と関連付けた熱心な質問が出るなど、「いのち」の大切さにもつながる探究心の高まりが見られた。</p>	東京大学生産技術研究所 准教授
31	神奈川県立	高複合	その他	安全教育	<p>工業科実技系科目（工業技術基礎・実習・課題研究）において、年度初めに安全教育を実施し、けが・事故防止を主体的に考えさせ、年間を通じて実践させた。このことにより、周囲への気遣いや、周囲との協働等が必要であることを理解し、広く社会性を養う授業を展開した。</p>	年度初めのオリエンテーションで実施している。

32	神奈川県立	高複合	その他	生命と性の健康 教室	生命・性について学び、自他ともに大切に思いやりの心を育む。	昭和大学 保健医療部看護学科・ 助産学専攻科 教授
33	神奈川県立	高1	その他	DIG演習	災害発生時、本校周辺がどのような状況になるか想像し、その状況下で学校がどのように動くか、自分がどのように行動したらよいか、保護者との連絡や引き取り方法について考え、自らの命を守る行動を確認させた。	地区の防災map、土砂 災害map、本校防災活 動マニュアル、学校周 辺地図を使用
34	神奈川県立	高2	その他	女性の命と健康	「いのちと健康」という選択の学校設定科目の授業の中で「女性の命と健康」というテーマのもと、特に女性の立場に立って学び考える授業が展開された。その観点は①月経について②妊娠について知る③妊婦体験 ④早すぎる出産のリスク⑤望まない妊娠の5つである。その中で具体的な実例を挙げて知識を深めたり、実習として妊婦さんの大変さを疑似体験して、授業の中で命に関わる問題について考え、生徒同士が意見を出し合うことによってさらに小さな命と命を育むことの大切さを学んだ。	
35	神奈川県立	高1	その他	LGBTへの理 解と人間として の尊厳から命の 大切さを学ぶ	「音楽Ⅰ」の授業でLGBTのミュージシャンが作った歌を研究し、LGBTへの正しい理解を得る授業を展開する中で歌詞の内容やその歌が作られた背景も学んだ。そのミュージシャンはゲイであるが、彼は周りの無理解と激しい社会的差別を受けることによって長年自殺を考えるほどに苦しんだが、ある女性柔道家が不屈の精神で戦い、人生に勇敢に立ち向かう姿に励まされてこの歌ができた。その女性柔道家とは本校の教員の妻であったこともあり、身近で具体的なエピソードを交えながら皆で話し合い、意見交換することによってさらに人間としての尊厳と命の大切さを学んだ。	曲；HERO 作詞・作曲： 勝山こうへい
36	神奈川県立	高2	その他	地雷撤去をめぐ る人々の努力	「コミュニケーション英語Ⅱ」の授業において教科書掲載の「Working against the Clock」をとり上げた。アフガニスタンの地雷撤去に取り組む日本人研究者の努力とその成果を追うことで、戦争がいかに人々の生命を危機にさらすものか、命の尊さを考えさせ、生命を尊重するために平和の維持に向けて自分たちに何ができるか、何をすべきかを考えさせる契機とした。	
37	神奈川県立	高2	その他	Conflict Issues Around the World	教科書の単元であるLesson 7 Malala's Fight for Educationで扱った国際紛争について、レッスンの締めくくりとして、4人グループに分かれて、世界中で起きてきた紛争問題についてのプレゼンテーションを行い、紛争によって命や教育を受ける権利を奪われたり、女性差別が横行したりしている現状について理解を深めた。	コミュニケーション英語 Ⅱ 教科書 PROMINENCE English Communication Ⅱ

38	神奈川県立	高1	その他	長井実習場で自然災害が起きたらどうする？	長井実習場での授業中に震度7の地震が起き、横須賀市が想定する最大津波が5分後に来ると仮定し、とるべき行動を考えるとともに、津波から身を守るために大切な3つのことを確認した。また、実習場周辺の地形を国土地理院の地図から読み取り、周辺地域の特性を把握したり、頼りになる施設や役に立ちそうな施設を整理したりした。危険な箇所を地図上で確認した後、実際にフィールドに出て避難経路や地図に落とし込んだ情報の確認を行い、起こり得るリスクについて議論した。自分の身の安全が確保できたあとに、自分自身が他者に対してできること（自助・共助・公助）について真剣に考えて、災害に備える姿勢を学んだ。	水産海洋基礎（DIG実習） 担当者作成教材
39	神奈川県立	高2	その他	豚肉の加工	豚肉を部位（バラ・かた）で購入。部位の位置を再確認し、原料肉の整形。部分肉の選別・細切りを通していのちの大切さ・普段食っている豚肉の加工を学んだ。農業の果たす役割について理解が深まった。製品として、ソーセージ・ベーコンを製造した。	食品科学科 農業総合科
40	神奈川県立	高3	その他	牛乳の流通「牛乳ショック」	酪農家が現在、危機に瀕しているという内容を視聴し、内容・感想等をまとめた。子牛の売値下落、飼料代高騰、及び牛乳需要減により、98%の酪農家が赤字経営であり、更にコロナ禍により需要が減ったため、牛乳の廃棄や乳牛を食肉用として販売している等の内容から、生徒個々が意見感想をまとめた。生徒の感想では「人間の都合で乳牛の命を粗末に扱っている。」「牛の命を守るためにもっと牛乳を利用したい。」などの記載を見ることができ、乳牛など命を削って人間に食を分け与えている動物についての現状を知ること、食といのちの大切さを理解させることができた。	NHK クローズアップ現代 “牛乳ショック” 値上げの舞台裏で何が 令和5年1月23日放送
41	神奈川県立	高2	その他	震災防災学習	修学旅行の目的の一つである震災防災学習として、人と防災未来センター（神戸市）を見学した。阪神淡路大震災発生時の様子「5:46の衝撃」を大型映像と音響で体感した。写真や映像、展示品などから地震災害の恐ろしさ・悲惨さを知ると同時に、全国からのボランティアや応援メッセージ等の支援が被災者を勇気づけ復興活動の活力になっていると感じた。さらに、防災・減災について学び、今後の災害にどのように備えるべきかを考えるきっかけになった。	人と防災未来センター 所員による講話・案内等 管内の写真、映像、展示品等
42	神奈川県立	高3	その他	時事・社会①	本題材ではアパルトヘイト以後に急成長を遂げた南アフリカにおけるアフリカーナの実情を学習した。南アフリカのアパルトヘイト政策により多くの黒人が人種差別に苦しんだことや、アフリカーナに対する現在の人種差別や悲惨な生活を知ること、貧困や人種的偏見、彼らが抱えている苦しみについて理解を深めた。	『Make Progress in English Reading』 数研
43	神奈川県立	高1	その他	薬物乱用	体育館において講話を実施した。薬物に関しての専門性の高い学校薬剤師により、薬物にかかわる様々な事例を紹介するとともに、実情に応じた近年の問題点などを理解し、危機意識を育てた。	学校薬剤師
44	神奈川県立	高2	その他	生命と性	各ホームルームにおいて、大学教授によるリモート形式での講演をおこなった。講演を通じて生命の尊厳と性についての正しい知識を習得し、自他ともに尊敬しあう思いやりの気持ちをはぐくむことができた。	昭和大学助産学専攻科 および保健医療学部看護学科教授

45	神奈川県立	高1	その他	SNS上のトラブル	相手の顔を見ないメッセージのやりとりは難しい。時と場合によっては言葉の暴力となり、相手の命を落とすことになる。ワークショップを実施し疑似体験を通じて、SNSの正しい方を学ぶ。	教科：情報
46	神奈川県立	高3	その他	飼育牛の飼育	本校で3年弱の間飼育した黒毛和種を出荷し、その牛肉を試食した。世界的に見ても稀有な能力を持つ黒毛和種の特徴を学ぶとともに、生徒とともに長い時を過ごした牛の出荷を通して、命を育むことの大切さ、責任の重さを学ぶ内容となった。	教科書、総合実習
47	神奈川県立	高2	その他	ロボット搾乳について	都市農業科2年次の「畜産」選択生を対象に、オンラインで北海道の酪農やロボット搾乳に関する話を聞き、酪農における牛の飼育方法や、牛がどのような生きものであるかを学習した。質疑応答を通じて学校の肉牛の飼育方法との共通点や違う点などを知り、また経済動物の飼育やロボット搾乳について理解を深めた。最後には皆で牛乳を飲み、生きものが生産したものをいただくこととはどういうことであるかを考えるきっかけとした。	講師は株式会社いただきますカンパニー。オンライン授業で北海道の酪農農家などともZOOMを繋ぎ、授業を行った。
48	神奈川県立	高3	その他	一次救命処置とけがの手当	子どもの死因は不慮の事故が上位を占めているが、適切な手当てを素早く行うことにより、苦痛の軽減や悪化の防止ができる。本講座では心肺蘇生やAEDを用いた除細動、気道異物除去等を乳幼児人形を使って習得した。また身近にあるものを使って、けがの手当や応急処置を行い、傷病児の観察、協力者との連携を通して相手への共感能力、生命の大切さを学んだ。	<科目名> 幼児安全法 <教材> 幼児安全法講習（日本赤十字） 乳幼児の一次救命処置～市民用～（日本赤十字）
49	神奈川県立	高3	その他	精神障がい理解	秦野市地域生活支援センター「ばれっと」の講師2名、スタッフ2名が来校し、生徒とのワークショップを通して精神障がいについて理解を深めた。ピアカウンセリングを行っている精神障がいの方々が、自らの体験や支援方法などについて語り、生徒はグループ毎に質問を通してコミュニケーションを深め支援のニーズを模索した。コミュニケーションを重ねる中で偏見などが解消され地域で共に生きる大切さを学んだ。	<科目名> コミュニケーション技術 <講師> 秦野市地域生活支援センター「ばれっと」 <教材> 自主作成教材
50	神奈川県立	高1	その他	農業と環境 「ブロイラー解体実習」	本校・畜産科学科では科目「農業と環境」の授業一環として肉用鶏の「解体実習」を実施した。秋に肉用鶏のヒナを導入し、餌付け・体重測定・掃除などの飼育管理を行い、12月の解体実習では生徒1人1人が自らの手でと畜、解体を行った。解体に躊躇する生徒の姿も見られたが、肉用鶏の命に向き合うことで家畜や食の役割を理解するとともに実習を通して、家畜の命の尊さや食の大切さを学んだ。また、解体した肉用鶏は生徒自ら各家庭で調理して食すところまで実践させ、食に対する感謝の気持ちを実感させることができた。	(該当生徒) 畜産科学科1年39名 (参考資料) 教科書「農業と環境」
51	神奈川県立	高2	その他	島唄に込められた思いについて	島唄はTHE BOOMの宮沢氏によって作詞された。宮沢氏は実際に沖縄を訪れ、沖縄戦についての話を聞き、平和への願いをこの曲に込めた。身近な楽曲が題材となっており、沖縄戦の悲劇や、命の尊さ、平和について学習することが出来た。	第一学習社『Viva! English Communication I』



52	神奈川県立	高2	その他	防災教育 「様々な災害を体験する」	神奈川県総合防災センターを訪問し、災害体験、備蓄倉庫の見学、防災シアターの視聴をした。訪問時、生徒は防災についての事前学習はしておらず知識が何もない状態であったため、疑似体験を通して自然災害の恐ろしさを知ることが出来た。地震体験では最大震度7までを体験することができ、CGの映像とともに地震の影響で様々なものが倒れたり崩れたりする体験ができた。水害体験では地下鉄が浸水した想定で大量の水が階段を流れ落ちる中、上り下りをしたり、水圧がある状態でのドアの開閉をしたりした。生徒は、立っていることが出来ないほどの地震や、普段通りに階段やドアを使用することが出来ないことを理解し、実際に甚大な被害を受けた地域があったことを改めて考えることができた。	【施設案内】 防災センター職員
53	神奈川県立	高2	その他	防災教育 「自分の命は自分で守る」	様々な災害が実際に起こった際にどのような行動を取る必要があるのかを「DIG・HUG・防災散歩」の3つを通して学習した。DIGでは使用する地図を学校周辺の地域と生徒が住んでいる割合が多い地域に設定した。どちらも山・川・海がある中で、起こりうる災害や被害を想定し、より良い避難経路を調べた。HUGでは本校が災害避難場所に指定されているため、災害時に自分達が手伝えることは何かという視点で避難所運営を疑似体験した。防災散歩では町役場の方にご協力いただき、町の防災取組について伺ったり、学校周辺を散策しながら危険な場所を実際に見たりした。生徒はこれらの授業を通して自分の命を守るために「今のうちから出来る準備は何か」を考えながら仲間と話し合い、取組むことが出来ていた。	【DIG参考資料】 社会技術研究開発センター 【HUG参考資料】 避難所HUGゲームキッド 【防災散歩講師】 山北町役場 防災官
54	神奈川県立	高1	その他	性感染症予防	性感染症やエイズについてオンラインで講演の映像を見ながら、ワークシートを記入した。オンライン映像だがリアルタイム双方向のため講義の後半には質疑の時間が設けられ生徒は質問をし、さらに理解を深めていた。	講師：神奈川県産婦人科医師会 教材：ワークシート
55	神奈川県立	高2	その他	終末期に関する こころとからだのしくみ	いのちある限り必ず訪れる死に対して、様々な視点からの死を学んだ。死について考える為、生徒は少し硬い表情に見えた。内容としては、様々な視点からの死についてや、脳死の判定基準、危篤状態による呼吸や体内の変化などについて学習した。後半になるにつれて、福祉を考えるうえで無視の出来ない内容であり実習などでも直面する可能性のあることだと感じているように見えた。	こころとからだの理解の教科書
56	神奈川県立	高3	その他	終末期に関する こころとからだのしくみ	死後の身体における変化、エリザベス・キューブラー・ロスの著書「死ぬ瞬間」で示された死を迎える人が受容する過程、尊厳死について、残された人へのケアについての内容。生徒自身あまり身近に感じていないが、もし余命を宣告された場合、どのようにして過ごしたいかをそれぞれで考え、発表を行った。2年生で実施した内容も併せている為、2年生に比べても3年生はスムーズに取り組むことが出来ていた。	エリザベス・キューブラー・ロス著書「死ぬ瞬間」・こころとからだの理解の教科書
57	神奈川県立	高2	その他	性感染症	授業の形式は、講師が制作したスライドを見せながら生命について考え、自分の身体を大切にすることはどういうことかを生徒に考えさせながら講義を行った。自分の身体を大切にすることで性感染症についての基本的な知識を学び、また思春期特有の悩みを共有し、自己理解を深めた。	講師は、本校（旧相模大野高校）卒業生で現在国立成育医療研究センターの助産師